



創世会
小沼 秀朗

コロナ禍を乗り越える掛川茶の販売促進策を伺う

Q 国産農林水産物等販売促進緊急対策事業の茶販売促進緊急対策事業等支援策を活用し、全国への消費拡大につながる掛川茶販売促進策を図れないか伺う。

販売促進策を計画している

A 掛川茶振興協会では、上限5000万円の補助金を活用し、包括連携協定を締結している「ソフトバンク株式会社」の協力を得て、全国約3000店舗で掛川茶の試供品を配布し、健康効能などを発信する計画を進めています。

ウィズコロナ、ポストコロナの年間行事を中止す

Q 児童、生徒の心を満たすよう小中学校の年間行事を中止す

ることなく開催方法を工夫して実施できないか。また少人数学級への見直しが必要でないか伺う。



体育祭をはじめとした各校の年間行事

可能な限り学校行事は実施、少人数学級の実現は難しい

A 子どもや保護者の学校行事に対する期待は大きく、可能な限り実施されるべきと考えます。総合的に判断し、中止の場合には、その他の行事や各授業において子どもの心を満たすような活動を行えるよう、各校を支援していきます。

感染防止のために、1学級の人数を減らすことは有効だと考えますが、教員と教室の確保が困難であり、実現が難しいのが現状です。

公共施設再配置計画は見直すべきでは

Q 老朽化する多くの市内公共施設の再配置計画は、10年20年先を見据えた維持管理費とポストコロナの市民生活を考慮し、施設評価の情報公開のもと計画を再検討し、スケジュールの見直しが必要と考えるがいかがか。

新型コロナウイルス感染症の影響などを考慮して検討していく

A 策定スケジュールは、昨年9月に公共施設再配置方針および再配置計画案を公表し、議会、行財政改革審議会で議論していただきました。地区説明会やアンケート調査を行い、様々な機会に適切に議論を進めています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響などを考慮し、必要があれば、スケジュールの見直しを含め



共に創る掛川
富田まゆみ

子どもたちの公平な学習環境整備を進めるべきでは

Q 今後の新型コロナウイルス感染症に備えた学校と家庭の双方向授業のために、家庭の通信環境の補完として市内公共施設のWi-Fi整備を進めるべき。また、個人用のルーター貸出しやLTE付タブレット端末導入も検討すべきと考えるがいかがか。

Wi-Fi拠点の拡充に努める

A 現在まで、公共施設などでのWi-Fi環境を整備してきました。今後も「掛川市公衆無線LAN推進協議会」とともに、Wi-Fi拠点の拡充に努めます。また、ご提案についてもどのような形でWi-Fi環境を整備していくのが最も利用が促進されるか研究していきます。

【その他の質問事項】

・コロナ禍を考慮し松ヶ岡施設整備を凍結すべき

